



平成30年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学  
 代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 永田 良一  
 (コード番号：2395 東証一部)  
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 C F O 二反田 真二  
 (TEL:03-5565-6216)

**業績予想と実績との差異、個別業績の前年実績値との差異、  
 営業外収益及び営業外費用並びに特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせについて**

平成29年5月15日に公表しております平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、当社は、個別業績予想につきまして重要性の観点から公表を行っておりませんが、平成30年3月期の個別業績につきまして、前年実績値との差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

なお、平成30年3月期において下記の通り営業外収益及び営業外費用並びに特別利益及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期 業績予想又は前年実績と実績との差異について

(1)連結業績予想数値との差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	16,250	△1,100	△1,220	△1,500	△36.02
実 績 値 (B)	16,600	△697	△813	△3,555	△85.41
増 減 額 (B-A)	+350	+402	+406	△2,055	
増 減 率 (%)	+2.2	-	-	-	
(ご参考) 前年同期実績 (平成29年3月期)	17,244	△1,792	△2,105	△915	△22.18

(2) 差異が生じた理由

一般的に売上高が増加したことにより、営業損益及び経常損益が前回発表予想を上回り、また、下記4の通り特別損失を計上することとなったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を下回り、上記の通り差異が生じました。

2. 個別業績の前年実績値との差異について

(1)平成30年3月期 個別業績の前年実績値との差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 年 同 期 実 績 (A)	9,919	△145	△4,671	△112.21
実 績 値 (B)	10,708	△216	5,218	125.34
増 減 額 (B-A)	788	△71	9,890	
増 減 率 (%)	8.0	-	-	

(2) 差異が生じた理由

前臨床事業において、売上高が増加しましたが、経常利益は前年実績を下回り、また、下記5の通り特別利益及び特別損失を計上することとなったため、当期純利益は前年実績を上回り、上記の通り差異が生じました。

### 3. 営業外収益及び営業外費用（連結決算）の計上について

#### (1) 営業外収益（持分法による投資利益）の計上について

平成30年3月期において、持分法適用関連会社3社の業績に基づき、持分法による投資利益637百万円を計上いたしました。

#### (2) 営業外費用（為替差損）の計上について

平成30年3月期において、昨今の為替相場の変動により、営業外費用に為替差損427百万円を計上いたしました。これは、主に平成30年3月期末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

### 4. 特別損失（連結決算）の計上について

#### (1) 特別損失（関係会社株式売却損）

平成30年3月期において、当社の連結子会社であるSNBL U.S.A., Ltd. がテキサス州にて運営しているScientific Resource Centerの動物輸入検疫/飼育事業をOrient Bio Inc. に売却したことにより、関係会社株式売却損681百万円を計上いたしました。

### 5. 特別利益及び特別損失（個別決算）の計上について

平成30年3月期において、以下の通り特別利益及び特別損失を個別決算において計上いたしました。

#### (1) 特別利益（投資有価証券売却益）

平成30年3月期において、当社が保有していた投資有価証券を当社の連結子会社であるSNBL U.S.A., Ltd. へ売却したため、9,043百万円の売却益を計上いたしました。なお、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

#### (2) 特別利益（関係会社株式売却益）

平成30年3月期において、当社の持分法適用関連会社である株式会社新日本科学PPDの株式の一部を譲渡したことにより、関係会社株式売却益796百万円を計上いたしました。

#### (3) 特別損失（関係会社株式売却損）

平成30年3月期において、当社の連結子会社であるSNBL U.S.A., Ltd. がテキサス州にて運営しているScientific Resource Centerの動物輸入検疫/飼育事業をOrient Bio Inc. に売却したことにより、関係会社株式売却損1,949百万円を計上いたしました。

なお、上記による業績への影響等につきましては、本日公表の「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上